

ガザ この現実

「たたかうジャーナリスト」

志葉玲・緊急報告会

2/20(金)@京都、21(土)@大阪&堺、22(日)@神戸



昨年末から22日間続いたイスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への無差別攻撃では、子ども400人以上も含む1300人以上が死亡し、停戦に至った現在でも、国境封鎖は解かれておらず、150万の人々は恐怖の日々を過ごし、水や食料、医薬品が不足しています。

国際人道法に反するガザ攻撃の被害について、現地取材したフリージャーナリスト・志葉玲さんの緊急報告会を、近畿4都市で開催いたします。

どなたでも予約なしにご参加いただけます(堺会場のみ要予約)

■志葉玲(しば れい)さんプロフィール

1975年東京生まれ。大学卒業後、番組制作会社を経て、2002年春から環境、平和、人権をテーマにフリーランスジャーナリストとしての活動を開始。

2003年のイラク戦争で、「人間の盾」として滞在しながら民間人の空爆被害を取材したのをはじめ、頻発する自爆攻撃や、米軍の「テロ掃討作戦」によるイラク市民の被害、自衛隊の活動などについて取材しつづける。

著書に『たたかう！ジャーナリスト宣言—ボクの見た本当の戦争』(社会批評社、2007年)。

志葉玲さん公式サイト <http://reishiva.jp/>



くわしくは裏面をご覧ください→